

京都知福協だより K.C.News 213号

京都知的障害者福祉施設協議会

京都市中京区壬生坊城町 48-6 京都社会福祉会館 3階 <https://kyotifuku.jp> 発行人/樋口幸雄



辻剛男さんは友就館での活動の中で車の部品を作ったり、得意な絵を描いたり、毎日を元気に過ごされています。彼が描いた可愛いイラストは、事業所で作ったクッキーのパッケージに大活躍！お客さんにも「この絵可愛いね！」と喜んでいただいております。「小袋だけいただけませんか？」というお問い合わせがくるほどです。野菜などを販売するお店では「いらっしゃいませ！」と大きな声で挨拶する姿も印象的です。

絵心と笑顔がたくさんの人をハッピーにする辻さん、本当にすごい！

得意なイラストがクッキーのパッケージになって大好評！さらなるグッズ展開も楽しみです♪

tsuji takeo
辻 剛男
福知山学園 友就館



- ◆ Spotlight / 辻 剛男 1
- ◆ 特集「地域との交流のカタチ」 2・3
- ◆ Special Select 〈調味料特集〉 4・5
- ◆ 研修報告 〈意思決定支援研修、共催研修〉 5
- ◆ 広報部員が行く！ 〈事業所見学会〉 6・7
- ◆ 研修報告 〈権利擁護研修〉 7
- ◆ コンサートの集い 8
- ◆ 虐待防止に向けた取り組みについて / 樋口会長 8



エビバデ京エール



みんなで!エビバデ京エール!

ヒーローズ 京都市上京区薬師町 234

ヒーローズで製造しているクラフトビール「西陣麦酒」と市民団体「エビバデ京ほっぷ」とのコラボ醸造「エビバデ京エール」が今年で2年目となりました。このビールは、ホップ栽培を通して人と人の繋がりを生み出すことを目的にしております。
1年目当初から新聞やテレビでもご紹介いただき、2年目である今年は、地域のご家庭や高齢者及び障害者施設など30箇所で開催され、行列が途切れず、沢山の方にご来場いただき、今年度分の約1000本も早々に完売。そして京都市輝く地域企業「未来づくり貢献賞」を受賞いたしました。



乾杯っ



未来づくり貢献賞



地域との交



地域交流、地域貢献など
積極的に地域の方と関わっている
事業所の活動を紹介します

地域の除雪作業 みずなぎ高野学園

京都市舞鶴市野村寺 200-2

毎年、舞鶴市では12月下旬から2月中旬頃までの積雪は、生活にも支障をきたし、過去には24時間積雪量が54cmの大雪となることもあり、雪国というほどではないのですが、積雪による休園もあります。その為、除雪車とフォークリフトに雪かきバケットを取り付け、いつでも除雪できるよう待機しています。
利用者送迎、職員出勤の経路確保と共に地域児童達の登校や生活への負担を少しでも減らし、安心・安全の為に除雪作業に努めています。
現在の日本は、いつどこで災害が発生するかわからない状況でもあり、地域の方々とのつながりを更に大切にする必要性は常日頃から感じています。

体力勝負ですが頑張ります!





町内会活動のお手伝い デイセンターふらっと

京都市上京区元誓願寺通千本東入ル元四丁目 430-3

京都市では市・区や関係団体の配布・回覧物を町内に配布することを市政協力員さんが担っておられます。
10年ほど前に、当法人のシェアハウスがある町内会の会長をすることになったことをきっかけに、市民・区民しんぶんを月1回ずつ各組長さんに配布することや、オーナーさんが高齢で対応できないマンションへの配布などをさせてもらっています。
いつも感謝の気持ちを伝えてもらえ、利用者の皆さんもやる気を持って取り組んでおられます。

真心も一緒にお届けします



流のカマキ

みんなで支えあう。
みんなで笑いあう。
ともに育む、やさしさの輪。



紙漉き体験にチャレンジ



交流学習

京都市大原野の杜

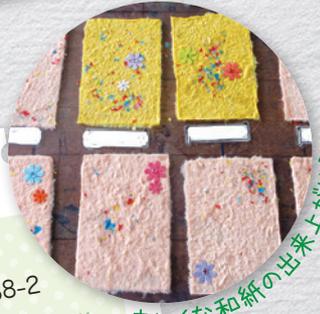
京都府京都市西京区大原野上里南ノ町 38-2

毎年、複数の小学校の皆さんと交流学習をしています。民生児童委員の皆さん、学区社協の皆さんにも多数ご参加いただけます。利用者の方にも苗ポッドを配っていただき、説明ボードを持っていただき、ケナフの刈りに協力していただくなどのサポートを通じて、小学生の皆さんと一緒に、1年をかけて活動します。

最後の交流学習では、児童一人一人が育てて、自ら刈り取ったケナフの皮と牛乳パックの紙を細かくしてから機械に掛け、繊維状にした液を木枠の中に流し込み、乾燥させてハガキを作成してもらっています。

この作業...
割と楽しいかも

早く大きくなーあれ♪



キレイな和紙の出来上がり♪



燻製京だし醤油イブリデイ 800円 ▶

内容量：100ml
どんな料理にも合わせやすいカツオと昆布の合わせダシを使用。時間をかけてじっくり燻製を行うことで、強い香りがします。

燻製京白だし醤油イブリデイ 800円 ▼

内容量：100ml
天保元年、京都西山大原野にて生まれた城戸平左衛門商店の白だし醤油です。「京白だし」は燻製の香りがより際立ちます。



テnderハウス

京都府京都市左京区新柳馬場通仁王門
下る菊鉾町316
TEL：075-752-4636 FAX：075-761-0955
注文方法：店舗、ウェブサイト
店舗：はあとフレンズストア、旬の駅 京都店
ハートプラザ KYOTO ぶらり嵐山店
販売サイト：自社：https://iburiday.com/
委託先：https://kyoto-heart-friends.stores.jp/

表示はすべて発刊時点の税込み価格です

Special Select

特集 調味料

今回は、お料理の強い味方
風味豊かな「調味料」を
セレクトしました!



京の黄真珠から作った柚子こしょう

750円
内容量：90g
賞味期限：18ヶ月
「京の黄真珠」×「水尾の柚子」×「翁乃塩」
原材料の全てが京都産の柚子胡椒です。
辛さの中のほんのりフルーティーな甘みと
柚子の香りをお楽しみください。



飛鳥井ワークセンター

京都市左京区田中飛鳥井町40
TEL：075-722-5991
注文方法：店舗、ウェブサイト
店舗：パン店舗「Harvesthome HOLYLAND」
販売サイト：https://kyoto-heart-friends.stores.jp/



七福味噌 550円

内容量：100g
賞味期限：製造日より180日
伝統技法で味噌を造られている地元片山商店の味噌の中に七種類の国産野菜を刻んで入れました。塩味と味わい深さの中に野菜の甘みがあり、シャキシャキ食感もおいしさの秘訣です。

九条ねぎ味噌 550円

内容量：100g
賞味期限：製造日より180日
伝統技法で味噌を造られている地元片山商店の味噌の中に七種類の国産野菜とゴマ油でめたネギを混ぜ込みました。塩味と味わい深さの中に野菜の甘みがあり、後味はねぎの風味が広がります。

にんにく味噌 550円

内容量：100g
賞味期限：製造日より180日
伝統技法で味噌を造られている地元片山商店の味噌を使用。塩味と味わい深い味噌の中に、辛味と旨味の強い舞鶴産にんにく「安寿」をたくさん入れました。にんにく好きの方にはたまらない商品です。

手とて てづくり味噌 700円

内容量：800g
賞味期限：180日
国産大豆と『城陽酒造』様の米麴を使用した無添加仕上げの味噌。素朴で懐かしい、ホッと落ち着く味わいとなっています。



かめおか作業所

京都府亀岡市葦田野野町佐伯大門30-1
TEL：0771-24-2596 FAX：0771-24-2597
注文方法：店舗、ウェブサイト
販売サイト：https://www.kamecomyu.net



城陽作業所

城陽市奈島川原口 12
TEL：0774-54-2424
注文方法：ウェブサイト
販売サイト：http://www.kyoto-umenoki.or.jp/





手前味噌 600円

内容量：400g
賞味期限：4ヶ月

昔ながらの美味しさ。じっくり時間をかけて発酵させることでしか味わえない“まるやかな味噌”です。

にんにく味噌 600円

内容量：200g
賞味期限：4ヶ月
熟成された手前みそに自家栽培しているにんにくを加えピリ辛に仕上げています。お鍋や炒め物調味料としてお使いいただけます。



幸せのいちごソース 700円

内容量：200g
賞味期限：4ヶ月

自家農園“ら・ぶら～す”で収穫した数種類の完熟いちごをブレンドし無添加・無香料で真心込めて作っています。

第3乙訓ひまわり園

京都市西京区大原野上羽町388番地
TEL：075-335-0222
FAX：075-335-0233
注文方法：店舗
店舗：CAFÉの・ぼん



令和6年度 京都知的障害者福祉施設職員研修会

令和7年1月11日(土) 京都社会福祉会館

支援者に問われる意思決定支援とは ～本人参加の支援を目指して～

令和6年の報酬改定では、施設入所者に対しての地域生活に関する意向の確認と施設外の日中活動の利用意向を確認する体制が求められています。

これまで以上に利用者の意向に沿った多様な生活形態の提示が必要とされる中、いま支援者に問われる「意思決定支援」を基本から学び、再確認する事で必要な知識や考え方を深めることをねらいとして開催されました。

講師：淑徳大学 副学長／高等教育研究開発センター 教授 鈴木敏彦 氏
実践報告：意思決定支援について「障害者支援施設部会からの報告」
洛西ふれあいの里更生園、 南山城学園グループホーム城陽



鈴木講師



会場の様子



実践報告：上／土居講師
下／小関講師

参加者からの声

- 「小さな意思決定の積み重ねがのちに大きな意思決定につながる」という言葉が印象に残っています。入所施設という集団生活の中で個人がきちんと尊重されているのが改めて考えてみたい。
- 施設の中で働くことが多く、外から見てこの業界がどのような変化を迎えているのか、意思決定の言葉の深さをより知る機会になりました。



研修動画

※研修動画の公開期間は、令和7年6月までです

令和6年度 知的障害者福祉施設・身体障害者福祉施設等職員研修

令和7年1月16日(木) ハートピア京都3階 大会議室

福祉職場でイキイキと働き続けるために ～仕事も人生も楽しもう～

福祉職場で働く人には仕事やキャリア形成、ライフステージにおいて悩みや迷いが多くあるのではないのでしょうか。

今の仕事の魅力ややりがいに改めて気づくと共に仲間をつくることで、仕事も人生もより充実させていくため、支援現場で働くみなさんの様々な考えを知り、安心して仕事も人生も楽しんでもらえるきっかけづくりを目的に開催されました。

講師：株式会社ふくなかまジャパン 代表取締役社長 真辺 一範 氏

講義：『福祉職場でイキイキと働き続けるために』
～ワークライフバランスを楽しもう～

演習：『仕事も遊びももっとエンジョイしよう!』

グループワークの様子



中西副会長



真辺講師



参加者からの声

- 言葉が人を作っていくんだと感じた。普段自分が使っている言葉や行動を振り返り、明日から意識してコミュニケーションを取っていきたい。
- 反省ではなく内省する事を意識しました。日頃自分の伝えたい事がどれだけ伝わっているのか、どのように工夫するべきか？考えてみたいと思いました。

広報部会員が行く！ 2025年2月13日 生産活動・就労支援部会 & 日中活動支援部会合同

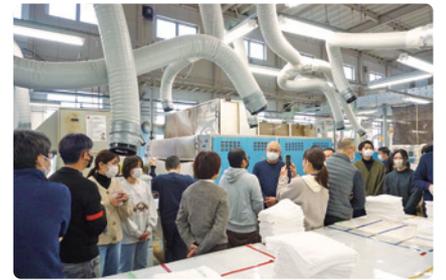
社会福祉法人あかりの家 ワークホーム高砂

特定非営利活動法人ビオラ Café ビオラ



2月13日に事業所見学会に参加しました。今回の見学会は、生産活動・就労支援部会と日中活動支援部会の合同で企画されたものでした。20名ほどの参加者が京都駅前に集合し、バスに乗って、兵庫の高砂まで向かいました。車内でも、マイクを使い自己紹介や福祉の仕事に就いたきっかけについて発表しました。こうした時間に、他の事業所の方々と交流できるのは、楽しい時間でした。

大量に落ちてくるので、「夏場には天井近くまで高く積まれて、カキ氷のように見えてきますよ」と亀山副施設長は半分冗談で話されましたが、確かな自信を感じました。



まずはワークホーム高砂に到着いたしました。施設に到着すると、施設の前には台車の上に、黄色やオレンジのランドリーバックがたくさん積まれていました。ワークホーム高砂は、クリーニング作業をされている事業所なのです。早速、亀山副施設長から施設の説明をしていただきました。クリーニング作業は企業様からの売り上げを、月額固定でもらっているということでした。また、就労継続支援B型のご利用者さんの平均工賃の高さには驚きました。



働いておられる現場を見学させていただきました。すると、巨大なアイロンの機械が設置されていました。機械の先端部にシーツをかけると、自動でアイロンをかけて、たたみまでしてくれるのだそうです。そのシーツをかける作業をご利用者さんが一生懸命にされていました。すると突然、赤いランプが光りました。「シーツ落ちてくるよ！」とご利用者さんの一人が叫びました。洗い終えたシーツが2階から自動で運ばれてきて、



次に、Caféビオラへ訪問。こちらで昼食をいただきました。私は加古川名物の「豚かつめし」をいただきました。大きい豚かつにデミグラスソースがかけられていて、ペロりとたいらげてしまいました。食後にコーヒーも頂き、見学を同行した他事業所の方との話に花が咲きました。ビオラ様のご利用者さんが、料理とコーヒーを運んでくださいました。また、ご利用者さんの描いた絵の作品が店内に



飾られており、私は帰りにその絵のカレンダーを購入させていただきました。

午後から、納豆工房なっとこちゃんを見学しました。工場の中に入って、まず思ったのは、とても清潔な空間だなということでした。それは物理的にきれいなことももちろんあります。しかし、作業の説明を聞いていくと、作業をされているご利用者さんが、工程ごとに細かく分担されており、人的にも整理されているからだな、と納得がいききました。ご利用者さんが一人ひ



ご利用者さんが一人ひ

事業所見学会

社会福祉法人あかりの家 納豆工房なっところちゃん



とり、受け持つ作業を集中してされていたのです。

最後に、納豆工房なっところちゃん 長谷川施設長は、法人の理念として「ディーセントワークの実践」を行っている、と説明されました。ディーセントワークとは「働きがいのある人間らしい仕事」だそうです。そのことを聞き、見学したご利用者さんの姿を思い返すと、確かに取り組んでいる仕事に誇りを持っておられるように思われました。それでも、一日仕事をやりきったときの充実した笑顔を想像することができました。また、そうした姿は、仕事に見合った工賃を受け取っているということとも関係しているのでしょう。

帰り際に、お土産に納豆を購入いたしました。ケーキを入れるような箱に、アイスクリームのようなカップの納豆を詰めてもらいました。デザインもオシャレです。雑誌やテレビでも度々取り上げられているとのこと。ご利用者さんは、自分が作った製品が有名になっていることで、さらに仕事に誇りを持っておられるということです。



帰りのバスでは、お土産の納豆を大事にカバンに入れてから、見学者の皆さんで、一日学んだことをマイクでシェアをしてきました。一人ひとりの気づきを聞くことでさらなる学びとなりました。他施設への見学は大変貴重な機会となりました。見学させていただいた、ワークホーム高砂、Caféピオラ、納豆工房なっところちゃん、大変ありがとうございました。

菊鉾会 テンダーハウス 三好真弘

障がい者の権利擁護・虐待防止研修会

令和6年12月16日 アグリセンター大宮
令和7年1月27日 京都テルサ
令和7年2月27日 文化パルク城陽

権利侵害を受けた人の多くが知的障害のある人で、中でも強度行動障害の状態にある人の割合が高い事は、厚生労働省の調査の結果で明らかになっています。

生活上の困難さを抱える強度行動障害の方が『住み慣れた地域や場所で暮らし続けること』ができる地域づくりについて考え、より良い支援こそが虐待防止の近道である事を再確認する事を目的に3会場で研修が開催されました。

- プログラム ※3会場とも同様の構成で開催
- 実践報告 「京都式モデル事業を通して」
「入所施設での支援の実際」
- グループディスカッション
- トークセッション ～これからの障がい者福祉について～



◀北部会場
グループワーク



北部会場▶
トークセッション

▼市内会場 実践報告



南部会場 トークセッション▼



南部会場
グループワーク

参加者からの声

- 実践報告では学びが多くあり有意義な研修でした。グループディスカッションでも活発に意見交換でき、他事業所での取り組みなど参考にしたい。
- 様々な事業形態の方が参加していて、グループワークでは普段関わらない業務内容も知れて良かった。
- 具体的な数字や事例を用いたトークセッションで、社会としての在り方を考える機会となり学びになりました。

令和6年度 コンサートの集い

令和6年11月27日(水) 綾部市京都府中丹文化会館

令和6年12月18日(水) 文化パルク城陽

令和7年2月26日(水) 京都コンサートホール

綾部、城陽、京都市内の3会場で開催されたコンサートの集いでは、各会場ともに吹奏楽団「音楽のとびら」により、誰もが知っている曲が生演奏され、参加者は自由に体を動かしたり口ずさんだりして楽しんでいました。

普段生演奏の音楽に触れる機会が少ない利用者の皆様にとっては、貴重で楽しいひとときとなり、施設では見られないような笑顔も多く見られて、とても幸せな気持ちになりました。

クリスマスが近づく中で行われた演奏会では、温かい演奏が会場を包み込み、参加者は拍手をしたり、身体で楽しさを表現したりしていました。音楽が日々の生活に欠かせない大切なものであることを実感できました。

さらに、約1500名が参加した京都コンサートホールでの演奏会では、会場が盛り上がり、アンコールの「ジャンボリーミッキー」をみんなで楽しみ、演奏後には演者とのふれあいもあり、大満足のイベントとなりました。

3つの会場すべてで昨年を上回る入場者数となり、来年以降の開催にも大いに期待が寄せられています。



虐待防止に向けた取り組みについて

京都知的障害者福祉施設協議会 会長 樋口幸雄

「令和5年度障害者虐待事例への対応状況調査」によれば、相談・通報件数、虐待判断件数、被虐待者数のいずれも大幅に増加しました(特に障害福祉施設従事者による被虐待者数の大幅な増加)。事業種別においては、共同生活援助事業が最も多く、次いで障害者支援施設、次いで生活介護、放課後等デイサービス、就労継続支援B型の順となっています。被虐待者の7割強は知的障害者であり、行動障害のある人の割合が高いことが示されました。その要因として、教育、知識、介助技術に関する問題、職員のストレスや感情コントロールの問題、倫理観や理念の欠如が挙げられています。

「隗より始めよ」という言葉があります。「大事を成すための実行の重要性」「遠大な計画といえども、まず目の前のことから始めよ」という意味です。つまり、「今の自分に何ができるかと考えることが大切だ」ということです。これは、中国の故事に由来する言葉ですが、HONDAの創設者、本田宗一郎さんの職人魂に生きた生涯をまとめた本のタイトルでもあります。私もこの言葉を胸に長年この仕事をしてきました。そこで、職員の皆様へお願いです。一つ目は、「丁寧な言葉遣いをしましょう」。利用者さんは「さん」付けで、職員同士の会話にも気をつけましょう。二つ目は、「居室の施設はやめましょう」。そうしなくてもよい方法を考え続けましょう。それが私たちの専門性です。三つ目は、「トイレの清掃を徹底しましょう」。トイレの異臭を放っておくことはいつか虐待に繋がります。そして、「利用者の皆さん一人一人との日々の会話を大切にしましょう」。これが虐待防止の取り組みの基本です。

令和6年度は、当協議会の人権・倫理委員会と京都市強度行動障害支援モデル事業のメンバーによる虐待防止研修を京都府北部・市内・南部の三か所において開催しました。会員内外から約140名の職員の皆様にご参加いただきました。令和7年度も引き続き取り組んで参りますので、会員の皆様におかれましてはぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

令和7年度の研修予定

研修の最新情報は下記URLよりご確認ください。

日本知的障害者福祉協会 HP
<http://www.aigo.or.jp/menu03/>
京都知的障害者福祉施設協議会 HP
<https://kyotifuku.jp>



日本知的障害者福祉協会 HP



京都知的障害者福祉施設協議会 HP

編集後記

いつも、広報誌をお読みいただきありがとうございます。今回も、いろいろな事業所の方にご協力いただき、充実した内容となりました。

いつも、どのような企画がよりみなさまに興味を持って読んでいただけるか、と考えています。

こんな事を取り上げて欲しいなどありましたら、ご意見・ご感想をよろしく願います。

今回の広報誌は、年明けすぐに企画を考えそして校正・

完成したものが、今みなさまの手元に届いています。手に取っていただいている頃は、新年度がスタートした頃だと思えます。

新年度、多少なりとも環境の変化はあると思いますが、仕事の休憩の時などに、この広報誌を読んで少しでもほっこりリラックスしてもらえたら嬉しいです。

令和7年度もどうぞよろしくお願いいたします。

天野 真弓 (ひなどり学園)

